

不具合箇所説明図



不具合発生箇所

ドアモジュール



不具合の状況

運転席のドアモジュールの防水性能が不十分なため、液体がかかった場合、ドアモジュールの内部基板に液体が浸入して錆が発生することでショートを起こす可能性がある。そのため、ドアモジュールによるドアロック等の操作ができなくなり、最悪の場合、ショートによる発熱で発火するおそれがある。

<改善内容>

全車両、ドアモジュールの部品番号を確認し、対象であれば、ドアモジュールの作動点検及び内部基板の目視点検を行う。作動不良やショートが確認された場合は、ドアモジュールを対策品に交換する。確認されない場合は、内部基板への液体浸入を防止するテープを貼付するとともに内部基板に防錆コーティングを施す。

<識別方法>

左ストラット部分に黄色ペイントを塗布する。